

狭山市教育委員会
教育長 向野 康雄 様

狭山市立西中学校
校長・浅沼 俊英

令和3年度 狭山市立西中学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1)ICT機器の積極的な授業での活用 (2)不登校の予防と対応の充実 (3)積極的な生徒指導の展開
(4)学校運営協議会の実効性ある発足 (5) 教職員の働き方改革(負担軽減)

2 本年度の経営方針

将来の自立のために、自分を律することのできる(自律)生徒を育成する。

3 自己評価結果

【評価の目安】A:よくできている(90%) B:概ねできている(85%以上) C:あまりできていない(70%以上) D:できていない(70%未満)

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
1 学校教育 目標	1	共通理解が図られ、実現の努力がなされたか。	A	保護者・地域への周知には課題があるため、方法、機会を見直す。
	2	保護者への浸透が図られたか。	B	
	3	経営方針について共通理解が図られ実現の努力が図られたか。	A	
2 校務 分掌	4	分掌の内容や責任が明確であったか。	A	仕事量の差を感じている教職員もいるため、細部の見直しを進める。
	5	分掌が活発に機能し各分掌の連携が図られたか。	A	
	6	各分掌の組織が合理的に編成されているか。	A	
3 教育 計画	7	学校教育目標や経営方針を具体化するために編制されたか。	A	感染症予防の関係で、学校公開等が積極的に展開できなかった。情報発信の方法、機会等を見直す。
	8	年間授業日数が適切に配当されていたか。	A	
	9	授業日数の確保の努力が十分なされたか。	A	
	10	開かれた学校づくりに努力がなされたか。	B	
4 学年 学級 経営	11	教員が教育計画実施の担い手であるという自覚を持てたか。	A	経営方針に学年間の差が縮小しているが、教員個々の意識の差は、依然として見られるため、機会あるごとに共通理解を図るための情報共有を進めていく。
	12	時間割により十分な成果を得ることができたか。	A	
	13	学校・学年・学級経営の方針に一貫性があったか。	A	
	14	意図的、計画的に学年、学級経営が進められたか。	A	
	15	児童生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	A	
	16	教室環境の整備に努力がなされたか。	A	
	17	朝の会、給食、清掃、帰りの会などに工夫改善が加えられたか。	A	
5 学習 指導	18	朝の読書への取り組みがしっかりなされたか。	A	タブレットをはじめとするICT機器の活用については教員間で大きな差があった。授業研究会が活用の大きなきっかけになったため、今後も積極的の授業研究を実施していく。
	19	児童生徒が進んで学ぶ授業の改善がなされたか。	B	
	20	基礎的・基本的内容を身につけさせるような工夫改善がなされたか。	B	
	21	児童生徒の長所を伸ばす評価の工夫がなされたか。	A	
	22	視聴覚・情報機器の積極的、効果的な活用がなされたか。	B	
6 道徳 教育	25	全体計画を理解し、全教育活動をととして道徳教育の実践がなされたか。	A	作成した資料との保管、継承を図っていく。
	26	道徳の時間が生徒の実態把握に基づき、計画的に実践されたか。	A	
7 特別 活動	27	全体計画を理解し、生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	A	体験的な活動は祝せざるを得なかったが、制約のある中でも工夫して成果を上げられることがわかった。今後も、方法を工夫していく。
	28	全体計画が、生徒の実態把握に基づき、計画的に実施されたか。	A	
	29	児童生徒会活動などの特性が理解され、児童生徒の自己実現がなされたか。	A	
	30	奉仕活動の活発化が図られたか。	B	

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
8 学校 行事	31	学校行事が計画的に実施されたか。	B	今後も変更を念頭に置き、代案を用意しながら進めていく。
	32	学校行事の特性を生かし、生徒の自己実現が図られたか。	B	
	33	職員の仕事分担が適切であり、お互いに協力がなされたか。	B	
9 生徒 指導	34	全体計画に基づき、計画的な指導がなされたか。	A	外部機関等との連携で、改善されたケースも多くあるため、今後も連携を密にしていく。
	35	職員に共通理解があったか。	A	
	36	カウンセリングマインドを心がけて指導がなされたか。	A	
	37	教育相談活動が計画的に実施されたか。	A	
	38	基本的生活習慣が定着するよう指導がなされたか。	A	
	39	児童生徒が意欲的に清掃活動を行うよう指導がなされたか。	A	
	40	いじめや不登校の指導が積極的になされたか。	A	
41	不登校生徒が出ないよう努力がなされたか。	A		
42	家庭、地域、諸機関との連携が密に行われたか。	A		
10 進路 指導	43	全体計画に基づき、計画的な指導が行われたか。	A	3年間を見通した計画的な指導を推進する。
	44	児童生徒が自己の生き方について考えることのできる授業や指導がなされたか。	A	
	45	家庭との連携が行われたか。	A	
11 保健 ・ 安全 指導	46	保健観察が丁寧に行われたか。	A	自転車のマナーに大きな課題があるため、今後も細やかな指導を継続し、家庭、地域の協力も得ていく。感染予防をきっかけに健康への意識を高める取り組みを推進していく。
	47	児童生徒の危険な行動【予測されるものを含めて】に対して適切な指導がなされたか。	A	
	48	健康や体力向上に進んで取り組む指導がなされたか。	A	
	49	治療が必要な生徒に適切に治療勧告がなされたか。	A	
	50	事故に対する対応が適切になされたか。	A	
	51	性に関する指導が共通理解のもとに行われたか。	B	
	52	給食指導が適切になされたか。	A	
12 職員 会議	53	開始時刻が守られたか。	A	今後も各種会議を機能させ、職員会議の合理化を図る。
	54	職員が問題意識を持って臨めたか。	A	
	55	議案の内容や提案の仕方が適切であったか。	A	
	56	建設的な意見が述べられ、よりよい会議の進行に協力的であったか。	A	
	57	会議の内容がよく理解され、決定されたことが責任持って実行できたか。	A	
	58	自己評価シートの内容が適切に進められたか。	A	
13 教職 員の 服務	59	教育公務員としての自覚を持ち公務員倫理のもと服務の厳正に努めたか。	A	今後も教職員の自覚を促すように、こまめに働きかけ、支援する。
	60	ゆとりを持った出勤がなされたか。	A	
	61	服装、言葉遣い、挨拶等は適切であったか。	B	
	62	出張や研修の報告が速やかに行われたか。	A	
	63	組織の一員としての自覚に基づき一人一人の責任が果たせたか。	A	
	64	健康維持増進のための努力がなされたか。	A	
14 校内 研修	65	研究主題が児童生徒・地域の実態や課題を踏まえた適切なものであったか。	A	研修には積極的に取り組めたが、生徒への還元という点で課題であるため、次年度以降も継続して取り組んでいく。
	66	研究組織や進め方は研究内容に応じて合理的・機能的であったか。	A	
	67	教職員が意欲的に取り組んでいたか。	A	
	68	研究の結果、児童生徒の変容が見られ、子供のためになったか。	B	
	69	研究内容が日々の指導の中に生かされ、教員にもしっかり身についたか。	B	
	70	研究の成果を次年度に生かす見通しができたか。	A	
15 施設 設備	71	施設設備が丁寧に正しく利用できたか。	A	丁寧に使用することを基本とする。
	72	備品の所在数量使用方法などが明確に把握され、有効に利用されたか。	A	
	73	使用後は施錠等が確実になされ、しっかり後始末ができたか。	B	
	74	掲示施設が有効に活用され、掲示教育が積極的になされたか。	A	
	75	環境整備に生徒も積極的に参加し、積極的な活動がなされたか。	A	
16 学校 事務	76	出勤簿は毎朝、押印されたか。	B	個人差をなくすよう指導支援していく。
	77	旅行命令簿はその都度、適切に記入されたか。	B	
	78	出席簿は毎日記入され、月ごとの集計は滞りなく行われたか。	B	
	79	文書は事前に校長に提出し、点検を受け、期限までに発送されたか。	A	
	80	現金の取り扱いには細心の注意が払われ、会計事務は適切に処理されたか。	A	
17 PTA 家庭 地域	81	家庭訪問・保護者会等は適切に計画され遂行されたか。	B	方法・機会を見直す。
	82	学年・学級便り等の発行は適切になされ、保護者への情報提供は適切であったか。	A	
	83	地域や家庭を積極的に理解するよう努力されたか。	A	
	84	積極的にPTAや地域の活動へ積極的に参加したか。	B	
18 部活動	85	部活動の指導は計画的に適切に行われたか。	B	感染予防のため十分な活動を保証できなかった。
19 総 合	86	内容は生徒の興味をそそるものであったか。	A	生き方教育に力を入れているが、体験的活動を縮小せざるを得なかった。代替案を検討していく。
	87	計画に沿って実施できたか。	A	
	88	図書室・コンピュータ室等の利用は計画的に適切に行われたか。	A	